

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 21	
企画名	プライマリケアで身近な利益相反の事例
日時	2016年6月12日(日) 09:30～11:30
会場	第11会場 (台東区民会館 8階 第4会議室)
企画責任者	箕輪良行 (JCHO東京高輪病院 総合診療研修顧問)
定員	20名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>過去3回本委員会として利益相反に関連したテーマで講演、WSを企画してきた。具体的には、広く医学医療全般にわたる研究に関して、プライマリケア・総合診療領域での臨床研究に関して、そして臨床現場での教育指導や講演会に関して学会員の理解を深めることをめざして議論してきた。これらを踏まえて、今大会ではより日常的な事柄で利益相反についてきわどいと思われる事例を広く発掘して会員相互で共有しながら議論を深めることを目的とする。</p>	
<p>【概要】</p> <p>4-6人程度の小グループに分かれて着席する。グループ毎で40分程、日常診療で身近に経験したことがある「きわどい」「疑問を感じる」事例をWSの前半で10事例程度を目安にブレインストーミングする。「施設に出入りしているMRさんからボールペンや患者教育資料をもらったことがある」「医学生時代にBSLで回った診療科の勉強会で弁当をもらいながら診療科の品定めをしていた」「地方在住だが、都会部で開催される学術セミナーに交通費宿泊費付きで接待された」といったようなものが話題に上がると想定している。グループ毎に5分で発表する。15分程度の簡単な講演のあとに後半で、集積された事例の中から一つを選んでグループのテーマとして、本学会のCOIマネジメントガイドラインなどを参考にして問題点、留意点を40分程度、グループ討議する。結果をグループ毎に5分間で発表して全体で共有する。</p>	